



子どもが過ごしやすい環境づくりを 体調の変化にも気配りして

かわむらこどもクリニック
(仙台市)
院長 川村和久先生



杏林大学医学部卒、国立小児病
院小児科勤務を経て、平成10
年仙台市に医療法人社団「かわ
むらこどもクリニック」を開業。小
児科の傍ら、ホームページで
診療の情報を発信し、医療相
談等を精力的に行う

夏期に多く見られる「夏風邪」。その中でもホ
ンキーン」で、高熱と激しいのどの痛みを伴い、
のどの奥に水泡ができる。このように夏風邪の特
徴は、高熱とどの痛み、微は、高熱とどの痛み
のひらや足の裏に発疹が、食欲不振、水分もこれ
見られ、のどの奥に水泡、脱水症状に気がつ
がでるの「手足口病」。夏風邪には熱や痛みの症
病。そして「咽頭結膜熱」状態を和らげる対処療法を
は高熱とどの痛みの症 施します。発症後は過
目ヤニも見られます。十分な補給を心がけま
目ヤニも見られます。十分な補給を心がけま

夏風邪、食中毒、熱中症に注意

強い日差しと高い気温、涼しすぎる家の中……。夏の環境は、子ども
の体力を奪います。小児科医の目から見た、この季節に注意した
い子どもの病気について聞きました。

夏場の胃腸炎は、多くが細菌性の食中毒。菌の
保持者から、また食物か
らの感染などが挙げられ
ます。症状の度合いにも
よりますが、下痢や嘔吐
を安易に止める事は逆効
果。人間の体には防御反
応が備わっており、体内
に入った悪いものを出す
ために症状が出るので
す。その際脱水症状にな
らないよう、水分補給を
ただし、下痢や嘔吐が頻

子どもの病気は親の学びの機会

親は熱が高いことには
かり注目しますが、
熱の高さと病気の重さは
イコールではありません
ん。熱が高くても、そこ
そこ元気があ、食欲も
あるようなら様子を見て
も大丈夫。
救急とは緊急性がある
もの。急病は緊急性のな
いものなので、その意味
合いが違います。
一般的に救急とてい
る基準は次の通りです。
①高熱が続く、ぐったり
としている②何度も嘔吐
をし、顔色が悪い③呼吸

必要水分量も多く、水分
が失われる率や影響も大
きいので、炎天下の野外
車内など高温状態の場所
に長時間居させないなど
はもちろんなこと、類
な水分補給を心がけま
しょう。

2006年5月20日号 リビング仙台に掲載されました